

事業主



株砂永樹脂製作所・太田市
砂永 純矢
(2 期)

太田ボーイズ30周年記念誌の発行おめでとうございます。2期の砂永純矢です。
現在は株式会社砂永樹脂製作所の常務取締役としてプラスチック成形品の開発・加工、金型の設計・製作を行う事業を行っております。

当時は、まだ群馬支部は無く埼玉支部の大会に参加していましたが、目先の試合の勝ち負けより、野球に取り組む姿勢や高校で野球をする為の準備を指導して頂きました。それから『好きこそ物の上手なれ』この言葉を教えて頂いたのが太田ボーイズであり檜野監督だと思っています。

現在の仕事でも野球で学んだ、やってもやらなくても自分に跳ね返って来ると言う気持ちを忘れずに取り組む様にしています。

特に取り柄が無い選手でしたが、大学まで野球を続けられた事を感謝しております。

現役選手の皆さん、野球を楽しみながら目標に向かって頑張ってください。応援しています。



うなぎの小堀・大泉町
小堀 純央
(3 期)

太田ボーイズ30周年記念誌の発行おめでとうございます。3期の小堀です。地元大泉町で飲食店をやっております。私が太田ボーイズ在籍中に檜野監督から学んだ事は諦めない気持ちです。練習中に肩を怪我してしまい、それまで大きな怪我などした事のない私は大きなショックを受け野球を辞めようかと悩んでいました。仲間にも励まされ二ヶ月ぶりに練習に参加すると、監督が近づいてきて日曜日大会だからなと笑いながら仰りました。二か月も野球から遠ざかっていたのに試合当日はまさかのスタメンでした。当然打てるはずもなく守備でもトンネル。それでも監督は私を替えようとしません。

最後の打席でようやくヒットが出て試合も勝つことができました。

試合の後監督さんに諦めなかったから結果が出たんだぞと笑いながら言われました。この時の言葉と監督の顔が25年たった今でも忘れられません。修行時代もその言葉を思い出し諦めずに乗り切る事ができました。最後になります。太田ボーイズに入団し、素晴らしい指導者と休んでいた間も一緒に野球を頑張ろうと家にまで来てくれて励ましてくれたかけがえのない仲間たちに出会えた事が、私の人生の財産です。



いのうえ整骨院・伊勢崎市
井上 雄治
(9 期)

太田ボーイズ30周年記念誌の発刊、おめでとうございます。9期の井上雄治です。

現在、伊勢崎市内で整骨院をやっております。私は現役時代にケガが多く、満足以外に野球が出来ない時期がありました。同じような境遇になった選手の力になりたい。少しでも自分の経験を活かしたいと考え現在に至ります。

太田ボーイズでは野球を通じて、様々な事を経験、学ばさせて頂きました。物事に対する姿勢や考え方の大切さ、同じ目標を持った仲間達とのコミュニケーション。私にとって全てが貴重な財産であり、日々の活力となっています。

現役選手の方々には、このチームで過ごすその日、その時を大切に人生の糧にして頂ければと思います。将来必ずここでの経験を活かせる時がやってきます。

最後に監督やコーチの方、保護者の協力があって、硬式野球が出来ている『感謝の気持ち』を忘れず練習に励んで下さい。

太田ボーイズ益々のご発展と、選手達のご活躍をお祈り申し上げます。



飲食業経営・栃木県
池澤 宏透
(14 期)

太田ボーイズ30周年記念誌の発行おめでとうございます。14期の池澤です。

栃木県内で飲食業を中心に複数の会社を運営しています。高校時代は『吠える4番』として甲子園に出場することができました。野球の魅力は、努力することの大切さを学べることと、たくさん人間関係が構築できることだと思います。

檜野監督には10年、20年後も太田ボーイズのユニフォームを着ていて欲しいと願っています。後輩の皆さん、夢に向かって頑張ってください。

高校野球指導者



茂木 達也
(12 期)

太田ボーイズ30周年記念誌の発行おめでとうございます。12期の茂木達也です。私は、新田暁高校で教諭をしながら硬式野球部のコーチを務めさせていただいております。

この度、原稿の依頼を受けて、ボーイズ時代の思い出を記そうかと思ったのですが、多すぎるため、卒団式に檜野監督にいただいたボールに書かれた言葉を記させていただきます。それは、「一生懸命さを忘れない」という言葉です。私は、高校の野球部では怪我もあり満足に活躍できず、悔しい思いを沢山しました。しかし、野球を諦めずに大学の準硬式野球部で活躍できた事や、現在まで野球に関わることが出来ているのは、この言葉のおかげだと思っています。どんな逆境になっても一生懸命に努力を続けたからこそ、夢を叶えられたのだと実感しています。

最後になりますが、後輩に伝えたい言葉があります。それは、「努力することを諦めの理由にするな。」という言葉です。本気で努力した人間には必ず気付いてくれる人がいて、その人達は必ず手を差し伸べてくれます。諦めずに一生懸命に頑張ってください。今後の活躍を心より応援しています。



高山 駿
(14 期)

太田ボーイズ30周年記念誌の発行おめでとうございます。14期の高山駿です。現在は群馬県立嬬恋高等学校で商業科教員として働きながら、野球部の指導にあたっています。

太田ボーイズでは、「全力疾走」と「結果よりも内容」を重視した野球を実践し、「当たり前のことを当たり前にする」ということを学びました。中学3年の時には、グラウンドで野球をした時間よりもグラウンド外でミーティングをする機会が多かったことをよく覚えています。最上級生として輝かしい成績を残すことはできませんでしたが、人として大切なことを学び、野球をすることの喜びを実感することができました。また、高校に入学後、太田ボーイズでの教えがあったからこそ成長することができ、良い成績を残すことができたと思っています。

今後は、群馬県の高校野球指導者として、いつか太田ボーイズで成長した選手たちを指導し甲子園という舞台に立ちたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。



米田 達哉
(15 期)

太田ボーイズ30周年記念誌の発行おめでとうございます。15期の米田達哉です。現在北海道にある私立旭川実業高等学校で教諭及び野球部コーチとして勤務しています。太田ボーイズ時代は檜野監督に捕手として起用して頂き、厳しい練習によって精神面・技術面を鍛えられただけでなく、一人間として大事なことを指導して頂きました。そのおかげで大学まで選手として現役を続けられたと思っています。大学卒業後は北海道へ行き、目標としていた高校野球の指導者になることができました。最大の目標は甲子園に出場することですが、教育現場にいる以上まずは一人間として、檜野監督より指導して頂いた「他人への思いやり・気配り」即ち、「カバーリングの精神」を次世代の若者に「全力疾走」で伝えていきたいと思っています。



佐伯 駿介
(20 期)

太田ボーイズ30周年記念誌の発行おめでとうございます。20期の佐伯駿介です。私は今年から教員として働き始め、将来は野球の指導者として携わりたいと思っています。そのような気持ちになったのは、太田ボーイズでの3年間が充実していたからです。檜野監督をはじめ、多くの関係者に支えられた3年間だったからこそ、高校、大学と野球を続けることができました。特にボーイズ時代に学んだことは多く、今でもその時の光景を鮮明に覚えています。大学4年まで野球をやっていて、太田ボーイズで学んだことは正しかったと感じることもありました。これからは野球が好きな子どものために自分のできることを精一杯やっていきます。

軟式野球現役監督



太田市役所
関 大輔
(2 期)

太田ボーイズ30周年記念誌の発行おめでとうございます。2期の関大輔です。
現在、太田市行政管理公社に勤めながら、太田市役所野球部の選手兼監督として現在も野球に携わっております。

私は、太田ボーイズの創部と同時に入部いたしましたが、当時の山本監督、檜野コーチの厳しいトレーニング、厳しい座学、厳しいお説教…のお陰で、野球だけではなく、人間的にも成長させていただきました。その後、檜野コーチが監督となり、私は投手として、檜野監督に沢山のご指導をいただき、必ずプロ野球選手にするから厳しい練習にも耐えて頑張れ！と誰よりも厳しくしていただきました。特に外野での短距離ダッシュを、ひとりで泣きながら永遠とやらされていたのを覚えています。私に唯一足りないものは、体の「キレ」。そこを鍛えればプロに行けたのでしょうか。残念ながら、私は、高校で投手から捕手となり、社会人まで硬式野球を続けましたがプロ野球選手にはなれませんでした。

現在でも現役を続けている理由のひとつとして、自分自身の技術の向上、日々進歩する野球の理論、知識の拡大、ボーイズ時代にお世話になった、山本さん、檜野監督に少しでも近づけるよう必死に取り組んでいます。

また、太田ボーイズと野球会に恩返し出来るよう精進して参ります。
今後の太田ボーイズの一層のご活躍と発展を祈念いたしております。



古河ロックドリル株
高崎工場
藤野 卓哉
(12 期)

太田ボーイズ30周年記念誌の発刊おめでとうございます。12期主将の藤野卓哉です。
現在は群馬県高崎市の古河ロックドリル株式会社に勤務し、高崎野球連盟Aクラス所属の古河ロックドリル高崎工場野球部の監督をしています。

当時の思い出は怒られているか、泣いているか、ケガしているかの3つです。まともにプレーしていた記憶がありません。歴代始まっての初の主将で補欠。その中で3塁コーチャーという試合を左右するポジションに出会い、今も3塁コーチャーとして立ち続けています。

中でも強く印象に残っているのが檜野監督に打たせてもらったホームラン。「ゴルフスイングしてこい」と無我夢中に振り、今でもその感触、必死にベース1周してホームを踏み忘れ踏み直した事を覚えています。

太田ボーイズでは結果に拘らず、内容に拘る事を学びました。企業の看板を背負っての野球は結果が付き物です。しかし内容を突き詰める事で自然と結果が付いてくると信念をもって日々指導しています。

ここで学んだ3年間の全てを今後の人生で全て出し切る事は出来ないと思います。ただ1つでも2つでも多く生かせる様に選手の皆さんは今この時間を大切に過ごしてください。



甲子園出場者一覧

3期	森村 裕太<松商学園(長野)>	二階堂銀二<桐生第一>	14期	飯島 翔平<桐生第一>	
	清水 利彦<仙台育英(宮城)>	11期	松井 祐樹<前橋商業>	松本 敏明<桐生第一>	
	金井 真吾<仙台育英(宮城)>		永田 毅<桐生第一>	高橋 二郎<佐野日大(栃木)>	
4期	大島 康信<桐生第一>		渡邊 亮真<桐生第一>	池澤 宏透<白鷗大足利(栃木)>	
	杉戸 裕次<仙台育英(宮城)>	12期	川岸 真人<桐生第一>	大谷 蓮<白鷗大足利(栃木)>	
5期	高田 宏昭<桐生第一>		川岸 佑多<桐生第一>	大谷 遼<白鷗大足利(栃木)>	
	鈴木 直貴<佐野日大(栃木)>		高山 健太<日本航空(山梨)>	15期	穂坂 豪<桐生第一>
6期	川崎 博文<桐生第一>	13期	青木 史隆<桐生第一>	16期	川岸 亮太<桐生第一>
8期	割田 大樹<仙台育英(宮城)>		伊藤 彰大<桐生第一>	池澤 将輝<白鷗大足利(栃木)>	
9期	倉上 将光<桐生第一>		川田 展行<桐生第一>	21期	赤坂 太綺<桐生第一>
10期	半田 健一<桐生第一>		坂田 信直<桐生第一>	22期	石川 塁翔<前橋育英>

編集後記

太田ボーイズ30周年記念誌発行にあたり、多くの皆様にご協力いただきましたことを心より感謝申し上げます。

思い返すと昨年3月、30周年記念誌の作成に取り掛かりましたが、動き始めて間もなく新型コロナウイルスの影響により緊急事態宣言が発令。グラウンドが確保できず、チームの活動ですら、ままならない状況になりました。それから1年以上経過した現在もなお、社会生活は以前の状態を取り戻せておりませんが、無事に記念誌を皆様のお手元に届けることができ胸を撫で下ろしています。

檜野監督はOBやOBの保護者1人1人がこのチームの財産だと昔から話しています。この言葉に恥じぬよう、私達はそれぞれの立場でこれからも精進して行かなければならないと思います。

今後も太田ボーイズの発展と太田ボーイズで野球を学んだ選手達が活躍することを祈念し、編集後記とさせていただきます。

太田ボーイズ 創立30周年記念誌

発行日 2021年11月9日

発行者 太田ボーイズOB会

編集 上毛新聞社デジタルビジネス局出版部
〒371-8666
群馬県前橋市古市町1-50-21
TEL 027-254-9966



**頑張れ
太田ボーイズ!**



株式会社 赤松園
Energy Chips Factory

〒379-2211
群馬県伊勢崎市市場町2丁目1220
TEL 0270-62-2986

75th Anniversary 75周年
とちぎの未来へ、あなたとともに。
栃木に根ざして75年 **栃木トヨタ**

**太田ボーイズ発足30周年
おめでとうございます!**

今後の益々のご発展を
お祈り申し上げます!

栃木トヨタ自動車株式会社

朝倉店 車両課 販売係長 根岸 大輔

〒326-0823 栃木県足利市朝倉町256-1
TEL 0284-71-2525 FAX 0284-71-6171
URL <https://www.tochigitoyota.com/>

栃木トヨタの最新情報はコチラでチェック



公式サイト

公式Facebook 公式Instagram

**全力で駆け抜ける
頑張れ 太田ボーイズ!**



株式会社 砂永樹脂製作所
SUNAGA PLASTIC MFRG.CO.,LTD.

代表取締役 砂永 吉亮

〒373-0861 群馬県太田市南矢島町607番地の7
TEL 0276 (38) 0438

『一球入魂！頑張れ太田ボーイズ』

群馬県の大泉町に明治初期より川魚問屋として創業されました。
二代目喜市により川魚料理を提供し始め、以来、徹底して素材にこだわり技術を
を伝承し代々伝わるたれと共に暖簾を守ってまいりました。
うなぎは厳選された国産うなぎのみを使用しております。
割きたて蒸したて焼きたてのうなぎをお楽しみください。

うなぎ小堀

取締役 小堀 純 央

〒370-0514 群馬県邑楽郡大泉町朝日 3-16-17

TEL:0276-62-3134 FAX:0276-62-3143

祝 30周年!!
太田ボーイズ
おめでとうございます

不動産・土地・建物・設計・施工

株式会社 井田建築

代表取締役 井田 隆

〒370-0128 群馬県伊勢崎市境保 1741-3

TEL (0270) 74-4872 FAX (0270) 74-4876

祝
太田ボーイズ
30周年



群馬県伊勢崎市市場町 2-887-16
0270-61-7088

30周年
おめでとうございます。

NI 有限会社 家中

土木工事一式

代表取締役 家中一也

〒370-0726

群馬県邑楽郡千代田町上五箇 883-5

TEL 0276-86-4468

FAX 0276-51-4644

太田ボーイズ30周年
おめでとうございます。

子ども(選手)とともに私たち保護者も一緒になってたくさんの事をこのチームから学ばせていただきました。OB、OB保護者になって振り返ると、在団中に経験した全てのことが、野球という枠を越えて今に活かされております。

ユニフォームとともに変わらないことは檜野監督が持つ、「選手を成長させる」という信念だと確信しています。これからも応援させていただきます。



公益財団法人 日本少年野球連盟
BOYS LEAGUE
群馬県支部 館林ボーイズ

代表 照内 政信



照内 教子

